

# 滴

【おん】 テキ  
しずく・した  
たる

## 14画 汀 滴 滴 滴 滴

【なりたち】 この世にただ一人の存在である帝(ミカド)に口を加えた商(シ)とミ(さんずい)の会意形声字。「しずくの水を表した字。しずく。転じて、しずくがしたたる」こと。音は「しずくは水のしたたる音でもある」。



【いみじゆくこ】

▼しずく。  
雨滴：雨のしずく。  
水滴：①水のしずく。②すずりにつぐ水を入れておく小さい水さし。  
点滴：①しずく。②「点滴注射」の略。血液や薬液を少しずつ静脈に注入する方法。  
▼したたる。しずくと落ちて落ちる。  
滴下：しずくと落ちて落ちる(落とす)こと。  
▼したたる回数をかぞえることば。【例】一滴・数滴

# 嫡

【おん】 チャク

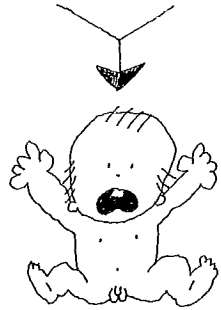
## 14画 女 姪 嫡 嫡 嫡

【なりたち】 ただ一人の意味の商と女との会意形声字。正夫人のことを表した字。「嫡妻(正妻)」。転じて、「正統・直系」の意味に用いられる。



【いみじゆくこ】

▼正妻。  
嫡妻：正妻。本妻。  
嫡出：正式の夫婦の間に生まれること。【例】庶出  
▼正妻の生んだ子。正妻の生んだあとつぎ。  
嫡子：正妻の子で、家をつくる者。  
嫡男：嫡出の長男。家のあとをつぐ男の子。  
▼正しいあとつぎの血すじ。本流。直系。  
嫡流：①本家の血すじ。【例】源氏の嫡流。②正統な流派。  
よみかた 庶嫡



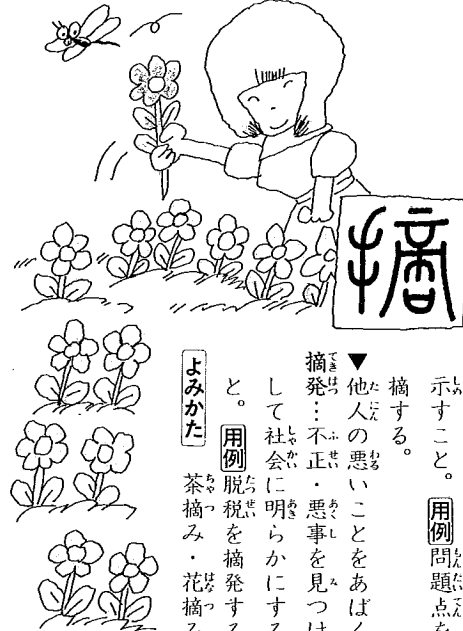
# 摘

# 摘

【おん】 テキ  
つむ

## 15画 扩 扩 摘 摘 摘 摘

【なりたち】 一つの意味の商と「てへん」との会意形声字。多くの中から一つを選んで取り出すことを表した字。「つまみとる・つむ」こと。



【いみじゆくこ】

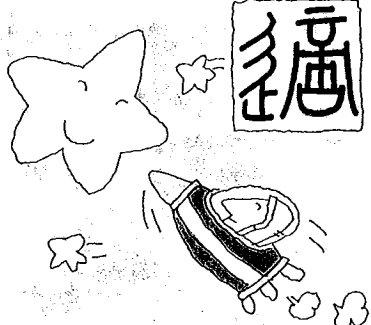
▼選び出す。つまみ出す。  
摘出：①つまみ出す。【例】弾丸を摘出する手術。②ぬき出すこと。【例】不正を摘出する。  
摘要：要点を抜き書きすること。また、その抜き書き。摘録：要点をかいつまんで書き記すこと。また、その記録。【例】講演内容の摘録。  
指摘：あることを取り上げて示すこと。【例】問題を指摘する。  
▼他人の悪いことをあはく。摘発：不正・悪事を見つけて出して社会に明らかにすること。【例】脱税を摘発する。  
よみかた 茶摘み・花摘み

# 適

【おん】 テキ

## 14画 一 彡 彡 彡 彡 適

【なりたち】 ただ一つの物を求めて行く意味の、商と一(しん)による(よう)との会意形声字。目的をもって行く意味の字。転じて、目的がかなうこと。いく・よくあてはまること。



【いみじゆくこ】

▼目的に向かっていること。  
適従：頼り従うこと。  
▼よくあてはまる。かなう。  
適合：よく当てはまること。  
適材適所：その仕事に適した才能のある人を、その才能にふさわしい地位や仕事につけること。  
適正：適当で正しいこと。  
【例】適正価格を維持する。  
適切：よくあてはまること。  
適当：①ちょうどよいこと。②ほどよいこと。③いいかげんなこと。  
適否：適しているか否か。  
【例】適否を判断する。  
▼心にながらう。  
快適：具合が良くて、非常に気持ちが良いこと。  
よみかた 適応・適温・適中・適度・適任・適用・適量・適齢期・最適・自適

# 嫡

